

K I T A n o K A W A R A B A N

北の瓦版

<http://www.do-shokoren.or.jp>

北海道商工会連合会 〒060-8607 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル
 TEL(011)251-0101 / FAX(011)271-4804
 編集人: 事務局長 野原 宏 / 定価: 1部50円 / 奇数月1日発行
 会員の年間講読料は会費に含めていただいております。

貯蓄共済 商工貯蓄共済
 あなたも家族もまるごと守る
 全国商工会会員福祉共済



お申し込みは
商 工 会
 北海道商工会連合会

創刊100号を迎えて

北海道商工会連合会会長 荒尾 孝 司



平成15年5月に第1号を創刊以来、隔月1回の発行を行ってまいりました本紙「北の瓦版」が、この度、第100号を迎えることとなりました。

第100号を迎えられましたことは、商工会並びに会員の皆様そして関係機関各位のご支援、ご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。

前身となる「商工会新聞」が昭和48年9月に創刊号を発行以来、昭和・平成・令和の46年間にわたり、当連合会と全道の商工会、そして2万9000人の会員を結ぶ情報紙として、中小・小規模企業に関する施策や

各地の商工会の活動状況、さらには地域に関する様々な話題を提供し、地域経済の活性化に役立つ紙面づくりに取り組んでまいりました。

この間、地域の商工業を取り巻く環境も大きく変わり、急速に進む人口減少と少子高齢化も相まって、生産・消費などの経済活動の縮小も余儀なくされ、地域経済を支える商工会として会員の皆様の事業環境も大きく変化したところです。

また、国の中小企業施策も大きな転換期を迎え、平成26年には中小企業の9割を占める小規模企業に焦点を当てた「小規模企業振興基本法」が施行され、事業者と地域の持続的発展を基本とした様々な施策が展開されているところです。

さらには、地方の人口減少に歯止めをかけ、地域

の活力を向上し活性化を目指す「地方創生」の施策の推進に当たっても商工会は様々な役割を担うこととなりました。

こうした中、日々発生する情報は、インターネットや携帯電話の普及により、大量の情報をリアルタイムに、そして個人間の情報も広く伝達が可能となり、今後ともさらなる情報化社会への進展が予想されます。

当連合会におきましても、本紙の果たす役割を改めて認識し、情報提供のあり方なども検討しながら、地域や会員に寄り添った紙面づくりを図ってまいりたいと存じますので、今後とも指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

特集記事 目次

「地域の未来に向かって」
 100号を記念し、市町村長と商工会長による7つの対談記事を掲載しました。

対談 01	北広島市……………3ページ
対談 02	上野市長&藤山商工会長 『ボールパーク構想 実現に向けて』……………4ページ
対談 03	戸田町長&熊谷商工会長 『ウボボイ完成に向けて』……………5ページ
対談 04	酒森町長&三浦商工会長 『ロケット基地宇宙を目指して』……………6ページ
対談 05	片山町長&牧野商工会長 『景観・環境・水 自然と共生するまち』……………7ページ
対談 06	池田町長&曾慶商工会長 『台風災害からの復興』……………8ページ
対談 07	宮坂町長&寺坂商工会長 『地震災害からの復興』……………9ページ
「北海道から世界のランダーへ」 ……………10ページ 有限会社ファーム富田	

第59回

商工会全国大会

とき 令和元年11月21日(木)
 ところ NHKホール
 (東京都渋谷区神南2-1-12)

100号記念特集記事

100号を振り返る



第1号は平成15年5月に発行された。当時は、自営業者等の増大が雇用者数の減少を上回るペースとなっており、自営業者等への再就職活動支援を行うための「北海道求職活動支援センター」開設の記事や「経営改善普及事業実施体制マスタープラン」策定の記事が掲載されている。この頃より、商工会の広域的な連携協力体制への整備が始まりをみせた。



第20号は平成18年4月に発行。国の新規事業として「小規模事業者全国展開支援事業」が始まり道内から13の商工会が申請した。

第40号は平成21年11月に発行。道商工連が受託した北海道農商工連携ファンド助成事業者8件の採択決定の記事が掲載されている。

平成23年1月第47号では、商



第79号は平成28年5月に発行。道民の悲願であった北



平成26年7月第68号では、この年の6月20日に成立した「小規模企業振興基本法」の記事を掲載。小規模事業者への支援の充実が期待されるなか、新しく創設された「小規模事業者持続化補助金」の1次公募による採択決定の事業者名が掲載されている。

第60号は平成25年3月に発行。照明をLEDに切替えるなど節電に取組む企業の事例が紹介されている。



平成28年8月後半に発生した3つの台風により道内各地に甚大な被害が発生。特に被害が大きかった南富良野町、清水町、新得町等の被害状況や支援への取組を平成28年11月第82号に掲載している。

北海道商工会青年部連合会結成50周年を迎えた記事は平成29年3月第84号に掲載。



平成30年11月第94号では、この年の9月6日に発生した胆振東部地震の被害状況や復興に向けた支援、要望への取組内容を掲載している。

北海道商工会女性部連合会結成50周年を迎えた記事は平成31年3月第95号に掲載。

「北の瓦版」1号から100号までをネット(スマホ)でも見ることが出来ます。(詳細は16ページに掲載)

北海道新幹線がこの年の3月26日に開業。また「北海道小規模企業振興条例」が4月1日に施行された内容を紹介している。

小規模企業共済

安心 安全

国がつくった

こんな悩みにお応えします

年金だけでは不十分で、不安がある

自分で積み増しするには、どんなものがあるの?

制度の特長

1 経営者のための退職金制度

小規模企業の個人事業主(共同経営者を含む)または会社等の役員の方が廃業や退職後の生活資金、事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。

2 掛金は全額所得控除

掛金は、全額が「小規模企業共済等掛金控除」として、課税対象所得から控除できます。

3 受取時も税制メリット

共済金の受取は、一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

他にもこんな特徴があります。

■ 契約者貸付けの利用が可能

契約者(一定の資格者)の方は、緊急時や災害時などに事業資金等の貸付けが受けられます。

■ 共済金の受給権は差押禁止

共済金・解約手当金の受給権は、国税等滞納の差押え以外は差押禁止債権として保護されます。

※ 詳しくは、ホームページまたはパンフレットをご覧ください

経営者のための
退職金制度です!

Be a Great Small.
中小機構

TEL:050-5541-7171 (共済相談室)

小規模共済

検索

本制度についてのお問い合わせ、お申し込みは

お近くの 商工会 又は 北海道商工会連合会へ

対談01 北広島市 上野正三市長・藤山康雄商工会長 『ボールパーク構想実現に向けて』

北広島市に北海道日本ハム

ファイターズのボールパーク建

設が決定し、2023年の新球場開業に向け、上野市長と藤山

商工会長にボールパークと未来のまちづくりについて語っていただいた。

ボールパークの建設が決定したときのお気持ちは

上野市長 建設決定時はここから本当に夢が始まるんだと嬉しかったですし、あらためて身



(左から) 上野市長、藤山商工会長

上野市長 ボールパークは市のまちづくりの目標である希望都市・交流都市・成長都市を体現するものであり、新たな北海道のシンボルとしてスポーツや観光・経済の振興等、北海道の発展に大きく貢献するものと確信しています。現在、道路などボールパークの周辺整備は市が担っており、可能な限り地元企業の協力のもと、まちの整備を行っています。住宅などの建設も増えており、若者の移住も増加傾向にあります。

藤山会長 おかげさまで会員数も増えています。商工会としては、全国連の補助事業でボールパーク構想との地域連携による新たな観光・食・ビジネスの創出というプロジェクトを立上げ進めています。ボールパーク外での魅力も向上させ、道外やアジア圏からの観戦者や観光客にも市街を回遊してもらう工夫を検討中です。

スポーツがまちづくりにどんな影響を与えるでしょうか

上野市長 生活の中にスポーツがある、スポーツコミュニティを充実させたいと考えています。ボールパークをきっかけに、観光、ビジネス、教育、医療など多方面に良い相互作用が生まれていくと思います。プロのスポーツ選手が身近に存在することで、市民が夢を持ち、そして誰もが堂々と夢を語り、叶えられるまち、そのようになれば素敵ではないですか。

藤山会長 プロスポーツとの連携による新たな産業の創出、北広島ならではのスポーツ産業という観点で経済の活性化を目指していきたいですね。駅からボールパークの間の商店街の盛上げなど、食とスポーツの融合を商工会が率先して実現してい



きたいです。

上野市長 野球に限らず、スポーツは豊かな心を育みます。これから100歳時代と呼ばれる高齢化社会において、高齢者まで市民の皆さんが健康で長生きできるまちを創っていきたくと思っています。

ボールパーク完成予定の2023年以降、どのようなまちの姿を目指しますか

上野市長 ボールパークを北海道の公共財として、オール北海道で活用していければと考えています。大きなスポーツの大会も開催できるようにすれば、スポーツの聖地と呼ばれるようになるかもしれません。魅力あるスポーツ施設、そして誰もが楽しめる場を提供することで、来て楽しい！と思える北広島になると思います。多くの人や情報が集まることで、地域経済の大きな発展につながるものと期待しています。

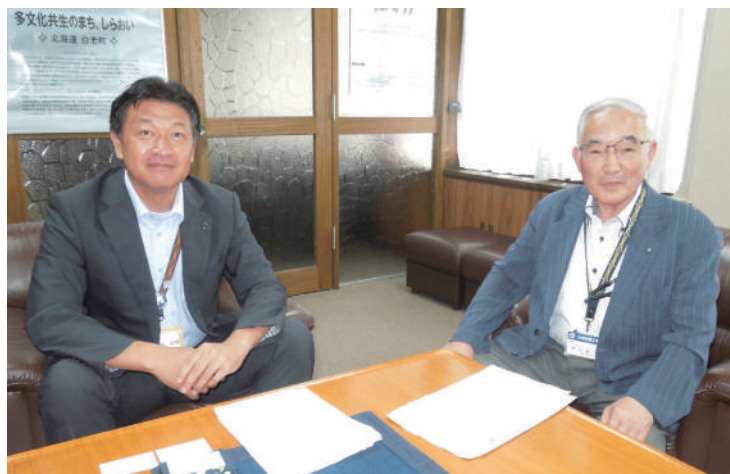


上野市長、藤山会長お二人に語っていただきました。

夢の実現を前に、今私の脳裏に去来するのは、北広島の開拓の歴史であります。挑戦し続けた先人の思いを大切にしながら、私も挑戦していきます。スポーツによるまちづくりの日本一のモデル都市になれば嬉しいですね。

対談 02

白老町 戸田安彦町長・熊谷威二商工会長 『ウポポイ完成に向けて』



(左から) 戸田町長、熊谷商工会長

民族共生象徴空間「ウポポイ」の2020年4月の開設に向け、白老町では行政と商工会が一体となり、国内外観光客の受入等さまざまな準備を進めている。いよいよ一般公開まで200日を切り、戸田町長と熊谷商工会長にまちの未来について語っていただいた。

ウポポイが決定した時のお気持ちは

戸田町長 国がアイヌの人たちを先住民族と認め、日本国内だけでなく世界に発信するアイヌの文化の復興、発展の拠点となり、国内外観光客の受入等さまざまな準備を進めている。いよいよ一般公開まで200日を切り、戸田町長と熊谷商工会長にまちの未来について語っていただきました。

熊谷会長

当町は、旭化成が撤退し、大昭和製紙も日本製紙に代わり、急激に人口が減りました。約2万5千人だった人口が1万7千人となり、将来人口では9千人(2040年)になると予測されています。この町で商工業者が営んでいけるのか不安がありました。ウポポイが起爆剤となり町の発展に繋がることを期待しています。また、先人の方々の努力や長い間の歴史に感謝したいと思っています。

ウポポイ公開に向けた進捗状況や町の様子

戸田町長 来場者目標数が年間100万人と示され、受入れるためのインフラ整備を進めています。白老町では、白老駅の北側と南側をまたぐエレベーターを備えた自由通路が工事中であり、国や道では

国道36号線の4車線化やウポポイまでの道路改良も進めています。しかし100万人でするので、宿泊需要に対しては当町だけではなく、近隣自治体との連携による受入体制を構築しなければなりません。その中で一時間でも長く当町に滞在をしていただければと思います。

熊谷会長

インフラ整備については、町が立てた計画に沿って、商店街整備、宿泊施設等受入整備をみんなで進めていきたいと思います。スタートラインに立ったばかりですが、お客様に来ていただき、喜んでもらいたい。そしてまた来たいと大満足をしたい。ただのおもてなしを実施していきたくです。お陰さまで宿泊や飲食店も増えており、ここ3年で17件の新規創業がありました。

まちづくりで現在計画していることはありますか

戸田町長 ウポポイの施設と商店街は500mほど離れています。現在JR白老駅北側にインフォメーションセンターを建設中で



出典：北海道開発局ウェブサイト

すので、このセンターを中心として町内を周遊する仕組を商工会や関係団体とともに考えていかなければならないと感じています。本年、観光協会がDMOの候補法人に登録されたことから、インフォメーションセンターを拠点として世界各地から来町していただけるよう情報発信をしてまいります。

熊谷会長

駅の北側に新しい商店街を作ろうと会員に3回アンケートを実施しましたが、会員企業は小規模であり経営者も高齢化、また人手不足もあり、新しい出店は難しいという課題が残りました。しかし、新規に創業したいという若者や民泊など新たな形態のお店も増えていきます。その方々と共存共栄し、来てくれたお客様に満足してもらえる商店街づくりを進めたいと思っています。

ウポポイ公開2020年以降、どのような町のすがたを目指しますか

戸田町長 当町は多文化共生のまちを標榜しており、アイヌの人たちを含めた色々な文化を認め合う社会をつくりたいと思っています。

熊谷会長 当町には歴史、文化、食材、温泉など魅力が多く、持っている白老力でどこにも真似の出来ない多文化共生のまちとしたいですね。

戸田町長 ウポポイはアイヌの人たちの尊厳を尊重し、差別のない多様な豊かな文化を持つ活力ある社会を築いていくための象徴であり、世界の先住民族が町を訪れますので、子供たちに影響があると思います。



出典：北海道開発局ウェブサイト

熊谷会長 そうですね、多くの人に来て経済が活性化し、今の高校生たちが、この町に住んで子育てをしてほしいですね。

戸田町長 子供たちが、この町に魅力を感じ、自慢できる町、誇りに思える町としたいですね。

熊谷会長 100万人と言うのは想像が付きません。どんな需要があるのか、病院や消防の対応も必要ですね。

戸田町長 まだまだ課題は多いですが、それらの困難を乗り越え、世界中の多種多様な方が来訪しても、おもてなしの心をもつて歓迎し、迎え入れることができる多文化共生のまちにしたいですね。

戸田町長、熊谷会長お二人に語っていただきました。



(左から) 小寺商工会長、竹中町長

対談 03

上士幌町 竹中貢町長・小寺友之商工会長 『移住・定住への取組』

上士幌町は、町村合併せずに自立の道を選択し「都市と農村の交流」を柱に5つの目標を掲げ、まちづくりを進めている。その一環として移住・定住の取組を道内で早くから推進し、人口増に向けた地方創生の取組により、奇跡的な飛躍を遂げている上士幌町の竹中町長と小寺商工会長に地域の未来について語っていただいた。

大きな目標でありました人口5000人を達成されたお気持ちを聞かせください

竹中町長 今や人口減少は避けられない、大変な状況です。本町では移住・定住施策を十数年前から取組み、子育て支援の充実など住み良いまちづくりを推進しています。地域経済が縮小しないように基幹産業の農業に付加価値を付ける6次産業化に

小寺会長 ふるさと納税は、商工業者の経営改善にも繋がっています。全国の寄付者に心から感謝いたします。商工会は、子育て支援カード事業や中元・歳末の還元セール事業、地域イベント事業等を実施しています。新規開業に繋げる上士幌起業塾への支援も行っています。町としてタッグを組んで進めてきたことが実を結び始めたと感じ

じております。
現在取組んでいる事業等について聞かせください



ナイタイ高原牧場

竹中町長 ナイタイ高原牧場のナイタイテラスが4月にリニューアルオープンしました。『北海道を象徴する景観』としてお客様で賑わっています。

この集客により町内の飲食

店や商店の利用者が増加し、地域全体に効果が表れています。

小寺会長 飲食店は1.5〜2倍くらいの波及効果があると思います。町長の地方創生への確固たる取組と合わせ、商工会も

キャッシュレス化やWiFi環境の整備、バルーンスタンプの電子化等、住み良い環境を整えるため商店街の機能を高めて行く計画を策定しました。

今後計画している構想などをお聞かせ下さい

竹中町長 来年は交流人口の拠点となる道の駅がオープンします。町などが出資する地域商社が運営し、当町の魅力発信等を行っていきます。また、エネルギーの地産地消を目指し現在4

基のバイオマスプラントが稼動しておりますが、さらに2基が建設



道の駅かみしほろ完成予想図

中で、町内全域の電力を賄える電力量となります。厄介者だった家畜糞尿が資源に変わり、地域の経済循環に繋がって行くのですから多面的な価値があると思っています。

小寺会長 まさに会員減少により商工会の存続を誰しもが危惧していた中、町の様々な取組により、ミラクルが起きています。

移住者や町民による新規開業が増え、人口や観光客の増加による多様なニーズに応えようとする商工業者も増えて来ました。今まで、どちらかと言うと

ネガティブだった心に変化が現れてきたと実感しています。また、会員数の減少がストップしました。

今後どのような町のすがたを目指しますか

竹中町長 ここと勝には、多くの北海道らしさが残っており、インバウドの方々にも注目される場所と思っています。

小寺会長 道の駅やナイタイテラスにインバウドの方々が多く訪れるようになっていきます。

商店街も生活体験と一緒になった宿泊サービスの創出などを考えています。

竹中町長 私は不便なところがあっても良いと思います。それが田舎ですから。幸せの基準も今後、変わっていくと思います。町民の心の豊かさを高める取組をICTを活用しながら積極的に進めていきます。

小寺会長 都会には無い町の魅力や価値観を高めるため、高齢者、子育て世代へのサービスを商工会が一体となって進め、コミュニティをさらに充実させていけます。可能性が広がる中で創業や事業承継により、次世代に繋げていきたいです。

竹中町長 持続可能な町、若い人が生き生きしている町、時代を繋げていく事が私の仕事と

思っています。

竹中町長、小寺会長お二人に語っていただきました。

竹中町長から上士幌町の取組をもっと多くの人に知ってもらいたいと一冊の本を紹介された。



「ふるさと創生」北海道上士幌町のキセキ」木楽舎から発行されている。

対談 04

大樹町 酒森正人町長・三浦祥嗣商工会長
『ロケット基地宇宙を目指して』

(左から) 三浦商工会長、酒森町長

大樹町では35年前から宇宙産業の誘致を進めており、現在はロケット開発ベンチャーのインキュベーターテクノロジズ(株)がロケットの打上げ実験を行っている。町を挙げて宇宙関連事業に取り組む大樹町で、酒森町長と三浦商工会長に地域の未来について語っていただいた。

本年5月4日に国内初の民間単独開発ロケット「MOMO3号機」が宇宙に到達いたしました。改めて打上げが成功した時はどんなお気持ちでしたか

酒森町長 最初は誰も相手にしなかったです。

三浦会長 歴代町長さん方とは青年部の頃から一緒させていたでいております。今回の打上げ成功により、目標の50%が達成された気がします。町民全体が成功を祝いました。本当に良かったです。

ロケット開発が進み、町の様子や町民の声などはいかがでしょう

酒森町長 最初は誰も相手にしなかったです。今も一次産業の町であり、当時は夢を語る前に、牛の一頭、牛乳を1リットルでも増やす現実的な施策の必要性が叫ばれていました。しかし今や夢が夢では無くなり、町民の期待も高まり、夢を実現しなければいけない使命を感じています。

三浦会長 町花はコスモス、シヨッピングセンターはコスモール、一貫して宇宙関連でやってきました。今後、ロケットの形や打上げの仕方も変わります。宇宙に行つて戻ってくる旅行が出来るなど町民の期待は高まっております。商工会としても一貫して町の取組をサポートしていきたいと思っています。

現在計画していること、実施している取組などありますか？

三浦会長 マスコミにも取上げられ、ロケットを見に多くの方が訪れます。会場でのおもてなしはもちろんですが、町内の飲食店では宇宙盛や銀河パフェなど宇宙にちなんだメニューを提案し、また道の駅ではお土産品として隕石まんじゅうやロケットモナカなどが販売され、



大樹町多目的航空公園

今後でも売れる商品作りを進めていきたいと考えています。

酒森町長 MOMOは宇宙の入口である100kmを目指していますが、インテラステラさんは、2023年にはZEROと言うロケットで衛星を宇宙に投入する計画でいます。それを打上げるための射場を整備するのが町の役割と考えています。莫大なる費用がかかることから6月に企画する会社を立ち上げました。国の支援はもちろん、みんなの知恵を借りながら、民間の宇宙実験等のニーズに応えるため国内3番目の射場とスペースポートの実現に向け全力で取組んでいます。

ロケット開発が進み、どのような町の姿を目指しますか

酒森町長 5年後には、射場が出来上がりZEROの打上げ、10年後には関連する企業が集まり北海道の航空宇宙の基地となっていきたいです。

三浦会長 そうなると経済も活性化し人口が増え、子供の増加も期待できますね。

酒森町長 宇宙からのデータを農業や漁業など様々な業務に取り入れ、活用することにより、みんなの暮らしが、さらに豊か



MOMO3号機



になることも目指したいですね。

三浦会長 高齢者も活動の幅が増え、人手不足など企業や地域の課題解決に繋がりますね。



町内ではロケットの耐熱塗装に携わっている企業がありますが、もっと宇宙に関わる企業が増えると良いですね。

酒森町長 JAXAさんが講師となり、小中学校また高校でも宇宙の授業を行ってくれています。宇宙に取組む大樹町に誇りを持ってもらい、まさに大樹(ここ)から宇宙(そら)に繋げて行きたい。

三浦会長 宇宙は町の支えです。ので、商工会として、しっかりとサポートをしていきます。

酒森町長、三浦会長お二人に語っていただきました。

対談 05

『二セコ町 片山健也町長・牧野雅之商工会長 景観・環境・水 自然と共生するまち』

片山町長と牧野商工会長に外国人の多い町ならではの取組について語っていただいた。

二セコエリアは外国人観光客の増加や地価の上昇など、経済に勢いがあるように感じられますが、町としてどのように感じていますか

片山町長 当町では昔から観光振興が重要だと考え、20年も前からインバウンドに着目して取



(左から) 牧野商工会長、片山町長

二セコは商工会員が増加していますが何か理由がありますか
牧野会長 やはり商工会に入って楽しいよね、役に立つよねという口コミが、おかげさまで広がっているのかなと思います。補助金の活用、提案や、会員同士が

組んできました。さらに行政依存から脱却し自由な発想で観光業を行えるように観光協会を日本です。昭和39年に町名を二セコに変えたことも大きいと思います。が、国内外をはじめ様々な方が訪れるまちになってきたという歴史があります。

牧野会長 商工会としても集客力の高い花火大会を青年部主体で開催するなど、町や観光協会と連携、あるいはバックアップして町を盛り上げています。最近では町内事業者でもキッチンカーが増え、二セコを拠点に近隣市町村のイベントにも出店して地域の食を盛上げています。

集まって話せる場を設けることでメンバー同士が真剣に町おこしの議論をしてくれています。ポップなデザインの町内飲食店マップも作成し、各店舗の魅力を紹介しています。

片山町長 新規に店舗を設ける際に費用の3分の1、最大100万円の補助金を交付するなど、商工会とともに事業者へのサポートを強化しています。まちの飲食店が増えるということは経済活動が活発になり町全体も元気になるますからね。また、町の補助事業をできるだけ地元企業に発注して経済を循環させる機会も増やしていきたいかなければなりません。

環境モデル都市に選定されるなど、魅力あるまちづくりをされていますが、現在取組んでいる事業はありますか

片山町長 現在建設中の新庁舎も天然ガスを採用し、自然環境に優しくCO₂排出を抑える選択を町民にも実施していただくようクールチョイスを提唱してい



JR二セコ駅

ます。あわせて、二セコの景観、環境、水などを大切に守っていくという共感が二セコの企業誘致の基本であり、この度その考えに共感した新潟の八海醸造(株)が二セコでのウイスキー醸造所の設立を決めてくれました。

牧野会長 地域の魅力向上という点では、近隣市町村との関わりも重要で、地域カードを共同でIC化することや空き店舗や雇用の問題など広域で何ができるかを一緒に検討しています。

牧野会長 多くの生産者の野菜が道の駅で販売されているように、ここには沢山の食の魅力があるということをもっと広く発信していきたいですね。外国人も移住者も溶け込みやすい共生のまち二セコですから、共感する人や企業が集まって生まれるだろうクリエイティブな発想や活動も今後大変楽しみです。

片山町長 将来的には町中で再生エネルギーが使用されるようになり、町や町民の出資による電力会社をつくり、仕入れや供給といったエネルギー、お金や雇用のサイクルを域内で生む構想をしています。

牧野会長 人手不足対策が喫緊の課題で、商工会事業として職業紹介に力を入れていくつもりです。例えば、地域おこし協力隊が町で活躍していますが、3年の任期終了後の行先、町内事業者との接点を商工会で積極的につくるというわけです。せっかく町のために何かしようとしてくれたわけですから、二セコで起業、就職して活躍してもらえたら嬉しいですね。

さらにもっと先の未来では、どんな町になっていると思いますか



羊蹄山と尻別川

片山町長 プラスチックの削減や温暖化対策などを徹底し、この自然を次世代につなぎ、住民のライフスタイルにあった姿で持続可能な地域として、世界から信頼されるまちとなれば嬉しいですね。まずはここに住んでいる人が楽しい、そして来た人も喜びを感じられる住みやすい観光地をぜひ実現したいと思っています。

片山町長と牧野会長お二人に語っていただきました。

対談 06

南富良野町 池部彰町長・曾慶一介商工会長
『台風災害からの復興』

(左から) 曾慶商工会長、池部町長

平成28年8月、台風による大雨、洪水等により道内各地に甚大な被害が発生した。災害発生から3年が経過し、濁流が直撃した南富良野町の復旧復興の状況と今後のまちづくりについて、池部町長と曾慶商工会長に語っていただいた。

**台風災害から3年が経ちます
が振り返ってみて、現在のお気持
ちは**

池部町長 あつという間の濁流により、全壊5件、半壊38件、床上床下浸水が約160件、被

り復旧復興が大きく進みました。**曾慶会長** まさかわが町に災害が起こると思わなかったです。災害を体験して、とにかく物資が無いんですね。商工会が物資をかき集めボランティアセンターに届けるなど炊き出しもしました。自分達の仕事を投げ出して活動する商工会の仲間の姿は偉大でした。またお互いが助け合うなかでの絆を感じました。備えも感じましたね。今回地域の高齢者がすぐに避難出来たのも備えがあったからと思っています。

害は甚大でしたが、死者が出なかったのが救いでした。当時の対応として、出るべきに苦労される例が多いことから、当町では仮設住宅は造らない方針で、被災者に公営住宅や保養施設に住んでもらい一にも二にも被災住宅を修復して行くことを率先して行いました。出来上がったところから帰宅してもらいました。皆様方からの多大な義援金、関係機関の迅速な対応やご支援により復旧復興が

復旧・復興の状況と、現在の取組について

池部町長

災害前の状況に戻ってきていると思います。農地についてはまだ改良中ですが1件の離農者も出ておりません。



河川の整備計画も進んでおります。8月31日を南富良野町防災の日と定めるなど防災意識が高まっております。



事業者への支援も大切なことと思いました。南富らの復興の足跡の冊子を商工会で作成しました。全てを流され絶望の中から再生した14の事業所等を紹

介しております。皆様の支援のおかげであり感謝いたします。
今後の町づくりについて、お聞かせ下さい

池部町長 昔、山の木を切って畑にし、学校が出来て当町が出来ました。しかし人が減り、畑が作れなくなった。買い手がいなければ、山に戻すという時代だと思えます。私は、山づくりは町づくりの考えで、森林を守り育てることが当町の生きる道と想っております。その中で道の駅の再編に町有林の活用も考えております。

曾慶会長 道の駅の再編には大きく期待しております。小さなマルシェを作り、商業集積の核として行きたいですね。林業の再生・地産地消も商工会としてバックアップし若い人に繋げて行くのが使命と考えています。

池部町長 道の駅は、関係機関とも協議し整備を進め、併せて防災・減災に向けて近隣で整備が計画されている河川防災ステーションとの連携も検討しています。

関連の事業所が増えてきております。ここには大きな自然が残っていると思います。
池部町長 私は、トマム、フラノ、サホロに囲まれた中で自然を体験できる環境にあるのは当町と考えております。
曾慶会長 高校でカヌー部があるのは当高校だけですからね。カリーングでのオリンピック選手が出るなど小さな町でも出来るのが沢山ありますね。
池部町長 新しいカリーング場の建設も考えております。インバウンドに対応できる人材も増えており、増加に向けた体験メニューの拡大も必要です。
曾慶会長 夏はカヌー、冬はカリーングで雇用が回る仕組みが出来ると良いですね。
池部町長 南富らの中にはコロボックル(森の妖精)のようなアウトドアガイドがたくさんおります。自然体験を通して当町を世界に紹介し、来て、体験し、そして住んでもらえる町となるように取組む考えです。
曾慶会長 自然という中で災害も体験しましたが、自助・共助・公助、今後とも自分達で地域を考え創っていく、町長の言う山づくりを財産として一緒に町づくりを進めていこうと思っています。

池部町長、曾慶会長お二人に語っていただきました。

対談 07

厚真町 宮坂尚市朗町長・寺坂文秀商工会長
『地震災害からの復興』

平成30年9月6日に発生した胆振東部地震において、厚真町は甚大な被害を受けた。現在も帰宅困難者がいる中で、町民や行政が一丸となり、早期の復旧復興に向け力を尽くしている。震災から1年が経過した現在の様子や気持ちについて、宮坂町長と寺坂商工会長に語っていただいた。

改めてこの1年を振り返るといかがですか

宮坂町長 長い方は3カ月避難所生活をし、さらに帰宅困難の

ため仮設住宅で年を越した方もいます。再開が危ぶまれた農家では、国や道などの支援により、春の営農再開にこぎつけました。ただ、一部農家では再開を2年程待たなければならぬ方もいます。この1年、被災された方たち自身が互いに思いやり支え合い、被災した皆さんの努力に感謝の気持ちでいっぱいです。

寺坂会長 震災当日、商工会員

たちは自らも被災者でありながら5日間の炊き出しを行い、町民から感謝され、天皇皇后両陛下からもねぎらいの

(左から) 宮坂町長、寺坂商工会長



現在の町民の様子や町ではどのような取組を行っているのでしょうか

宮坂町長 町民においては、災害復旧が進んで収穫の秋を迎え、笑顔が広がりつつあります。一方で、いまなお喪失感がいっぱい道筋を立てられない中で頑張っている人もいます。一人ひとりの背景を考慮した精神的なサポートがまだまだ必要な状況です。

寺坂会長 この町の事業者は前向きで、大変な中でも復興に向けて積極的に投資を行っています。未来のために邁進する姿に元気をもらっています。

宮坂町長 町としては、公共事業、治山事業、災害廃棄物の処理、堆積土砂の撤去などを国や道と協力し、町民とも協議しながら進めています。また基幹産業の農業では、主要作目の水田は96%に作付が行われ、収穫が待ち遠しいです。



森林崩壊地復旧状況

今後の町づくりの構想など、予定している取組はありますか

仮設店舗の外観



宮坂町長 被災直前は一時人口増に転じる程、子育て支援や移住施策の効果が現れてきています。

寺坂会長 商業者の体力を維持するために発行した町独自のプレミアム商品券など手厚いバックアップのおかげで、震災後廃業したお店は1件もありませんでした。今後はいざという時に商業者を守るよう町と商工会で防災協定を結び、BCPの策定に引き続き取組み、会員企業の持続的な発展を応援していきたいと考えています。

宮坂町長 災害に強いまちを目指す、防災拠点となる公共施設や道路、商店街などを土地利用の観点から再度見直すと同時に、人材育成や倒木の再利用など域内におけるエネルギーや経済の好循環を生める環境を整えていきます。

最後に、さらに5年、10年後、どのような未来の町をイメージしますか

寺坂会長 何より、商人にとつては多くのお客さんに来ていただくことが一番です。この度観光協会も法人化し、HPの多言語化やキャッシュレス決済など観光客を受け入れる体制が整ってきました。被災3町が協力してこのエリアの魅力を世界に発信し、外国人や道外のお客さんに、こんなに素敵な町があったのかと気づいてもらえたら、大変嬉しいですね。

宮坂町長 今はこの体験を後世に語り継ぎ、他の市町村の災害対応の見本として復旧復興の姿を示すことは厚真町の使命だと思っています。だんだんと厚真町に居ると面白くて楽しいという空気が町中に広がっている中で、安心安全、美しい景観の中、町民一人ひとりに心の余裕が生まれた先に、新しい芸術が生まれてくるような町となればワクワクしますね。

寺坂会長 色々な夢を実現するために、震災前の厚真町以上の厚真町を目指すという強い気持ちで、町と商工会が両輪となり力を合わせ前に進んでいきたいと思います。

宮坂町長、寺坂会長お二人に語っていただきました。

北海道から世界のラベンダーへ

中富良野町



上川管内中
富良野町にあ
る(有)ファーム
富田。紫色が
一面に広がる
ラベンダー畑

は、北海道の夏を代表する観光地として全国にその名を知らしめています。

花人目線での農園作りにより、現在100万人の観光客が訪れるようになりました。生産者としては4代目、会社としては2代目となる富田均代表取締役社長にお話を伺いました。

◆今回ラベンダーの保護と普及に関わった功労が認められ、南フランスのラベンダー生産者連盟から「ラベンダー修道騎士」の称号が与えられました。お気持ちを聞かせ下さい

「日本での認証は、父忠雄（故人）に続いて2人目と聞き、選ばれたことは、大変栄誉なことと思っております。本年7月に南フランスの都市アプトで授与式に臨みました。今後は連盟の

行事や他の騎士選定に関わるようになります。称号を与えられ、ラベンダーを守り育てる使命感を強く感じています」



◆農園が大きくなり、施設も増えていますね

「冬にラベンダーは咲いていませんでしたが、来てくれるお客様に花を見てもらおうとグリーンハウス（温室）を作り、真冬の開花に成功しました。これは生産者としての意地もありました。私にとっては、ラベンダーという植物の奥深さを知らされました。一年を通してお客様がお見えになり、四季それぞれの花を楽しんでもらうための花畑、雨の日もあるので建物も必要、休憩する場所も必要、食事をする場所も必要となります。久しぶりに訪れた方は、農園の変わりように驚かれると思いますが、見てもらうために必要な

ものを足していったら現在の姿になったと言うことです。また平成15年には、日本で最大規模のドライフラワーアレンジメントの展示スペースをもつドライフラワーの舍もオープンしております」

◆商品のアイテム数も増えておりありますが

「先代の頃は、50位でしたが、今1000アイテムはありますね。以前はラベンダーと言えは香水としての需要が多かったですが、自身の回りを見ていただくと感じるとありますが、石鹸、ろうそく、虫よけスプレーなど



日常生活の中で随分目にするようになったのではないのでしょうか。ラベンダーの効能も注目され、安眠効果やリラクゼーション効果もあり、癒しを求めるニーズとも相まって、アロマオイルなど需要が増えております。昔は安価な合成香料によりラベンダー農家が涙を飲んで株

をすきこんでいきましたが、現在は、安心・安全な国産の商品が求められる時代となりました。最近では今治タオルとのコラボ商品もあります」

◆平成20年にラベンダーイーストが開業しておりますね

「このようにラベンダーの需要が高まるなか、見てもらうための畑では、刈取りが遅くなり、そこで収穫するための畑としてイーストを開園しました。約9万株、日本最大のラベンダー畑となります。こちらでは収穫風景を見ることが出来ます」

◆今後の事業展開について

「栽培面積はもつと広げたいと思っておりますが、雨の少ないこの地域で、異常気象のせいでしょうか、豪雨により畑の土砂が流れ出て、えぐれたり、園内に泥が流れ込むなど、お客様に迷惑をかけることがあり、園内の整備に力を入れたいと思っております。

また、気候変動により栽培も難しくなってきたり、毎年満開の花をいかに咲かせるか、作物の宿命である連作障害はラベンダーも同じで、農地改良なども含めいかに対応していくのか

が、生産者としての腕の見せどころですね。

現在は、管理や整備に追われておりますが、ラベンダーの需要に安定して応えられるものを作りたいと思っております」

◆ラベンダーに対する思いは

「必要とされる植物として、生活の中にラベンダーがどんどん入って来て身近になり、継続して愛される花となって欲しいですね。海外の評価も高まっており、世界に認められる北海道のラベンダーを目指したい」と語ってくれました。

【企業概要】

創業 昭和58年10月
資本金 1000万円
従業員 42名



北海道味覚マルシェ in 札幌を開催

道商工連では、道内の特産品を集めた「北のおいしいを新発見!」「北海道味覚マルシェ in 札幌」を10月2日～7日の6日間、丸井今井札幌本店大通館催事場で開催し、期間中約4万4000人が来場した。

オープニングセレモニーでは、主催者を代表して荒尾会長が挨拶した後、来賓として出席頂いた、北海道経済産業局三木産業部長をはじめ、北海道経済部鳴海地域経済局長、(株)札幌丸井三越大坪丸井今井札幌本店長、北海道貿易物産振興会山根副会長及び、荒尾会長と田中副会長(地域振興委員長)がテープカットを行い、マルシェがスタートした。

会場には、道内から60企業が出展し、山海の幸から弁当、惣菜、スイーツなど、個性豊かな特産品が販売され、大勢の人で賑わった。

また、期間中「北海道味覚マルシェコンテスト」を実施し、菓子部門などの5部門で売上高

トップの5企業の中から、購買者アンケートの調査結果も加味して「北海道味覚マルシェ大賞」を選定し、函館市の「(株)ハセガワストア」が受賞した。

各部門賞は次のとおり。



■寿司・米飯・惣菜部門

「(株)ハセガワストア」 函館市

■農産加工部門

「(有)白楊舎」 遠軽町

■水産加工部門

「(有)舟木商店」 羅臼町

■菓子・乳製品部門

「(有)末廣軒」 北斗市

■食肉加工部門

「(有)大島精肉店」 新十津川町

渡島管内商工連が 関係行政機関等へ要望

渡島管内商工会連合会(宮崎高志会長)は、8月27日に札幌市内で商工会長等12名が「小規模事業者支援対策の推進について」や「北海道新幹線の建設促進」「道路予算の安定的確保と社会資本整備重点計画等の推進」「北海道縦貫自動車道の整備促進」「高規格幹線道路函館・江差自動車道の整備促進」「地域高規格幹線道路函館新外環状道路の整備促進」「国道227号渡島中山防災の整備促進」など12項目について道開発局と道に要望した。



(左から) 宮崎会長、土屋北海道副知事

令和元年度

65歳超雇用推進助成金のご案内

65歳超継続雇用促進コース

65歳以上への定年の引上げ、定年の定め廃止、希望者全員を対象とする66歳以上の継続雇用制度の導入、のいづれかの措置を実施する事業主の皆様を助成します。

主な支給要件

- ・労働協約又は就業規則で定めている定年年齢等を、平成28年10月19日以降、最も高い年齢に引上げること
- ・定年の引上げ等の実施に対して、専門家へ委託費等の経費の支出があること。また、改正後の就業規則を労働基準監督署へ届け出ること
- ・1年以上継続して雇用されている60歳以上の雇用保険被保険者が1人以上いること
- ・高齢者雇用推進者の選任及び高齢者雇用管理に関する措置を1つ以上実施していること

支給額

- ・定年の引上げ等の措置の内容、60歳以上の被保険者数、定年等の引上げ年数に応じて5万円から160万円(ただし1事業主あたり(企業単位)1回限り)

高齢者評価制度等雇用管理改善コース

高齢者の雇用管理制度を整備するための措置(高齢者雇用管理改善措置)を実施した事業主の皆様を助成します。平成31年4月1日より開始した新しいコースです。

措置(注1)の内容

- ①高齢者の能力開発、能力評価、賃金体系、労働時間等の雇用管理制度の見直しもしくは導入
 - ②法定の健康診断以外の健康管理措置(人間ドックまたは生活習慣病予防検診)の導入
- (注1)措置は、55歳以上の高齢者を対象として労働協約または就業規則に規定し、1人以上の支給対象被保険者に実施・適用することが必要。

支給額

支給対象経費(注2)の60% (75%)、ただし中小企業事業主以外は45% (60%)
(注2)措置の実施に必要な専門家への委託費、コンサルタントとの相談経費(経費の額に関わらず、初回の申請に限り30万円の費用を要したものとみなします。)

《》内は生産性要件を満たした場合

高齢者無期雇用転換コース

50歳以上かつ定年年齢未満の有期契約労働者を無期雇用労働者に転換した事業主の皆様を助成します。

申請の流れ

- ①無期雇用転換制度を整備
- ②高齢者雇用推進者の選任及び高齢者雇用管理に関する措置を1つ以上実施
- ③転換計画の作成、機構への計画申請
- ④転換の実施後6ヶ月分の賃金を支給
- ⑤機構への支給申請

支給額

- ・対象労働者1人につき48万円(中小企業以外は38万円)
- ・**生産性要件**を満たす場合には対象労働者1人につき60万円(中小企業事業主以外は48万円)



独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構
北海道支部 高齢・障害者業務課

011-622-3351

『助成金の支給申請を行う直近の会計年度における「生産性」が、その3年度前に比べて6%以上伸びていること(生産性要件の算定対象となった期間中に、事業主都合による離職者を発生させていないこと)』が**生産性要件**を満たしている場合となります。

生産性 =
$$\frac{\text{営業利益} + \text{人件費} + \text{減価償却} + \text{不動産賃借料} + \text{租税公課}}{\text{雇用保険被保険者数}}$$

■お問合せや申請は、都道府県支部高齢・障害者業務課までお願いします。詳しくはホームページ(<http://www.jeed.or.jp>)をご覧ください。

管内通信



道南の秘境と云われる福島町岩部(いわべ)海岸を小型船グラスボートで周遊する「岩部クルーズ」が好評のうちに一年目の運航を終了した。

運航している一般社団法人福島町まちづくり工房(上嶋利洋代表理事)は出資金2000万円(町50%、企業・個人50%)で平成28年11月1日に設立し、今年6月から運航を開始した。

「岩部クルーズ」は松前矢越道立自然公園内にある船でしか行けない手つかずの大自然が残る岩部海岸を12人乗りのグラスボートで岩部漁港から矢越岬までの片道約5キロの航路を90分かけて周遊するクルーズで、運が良ければクマやイルカ、ハヤブサなど陸・海・空の野生動物が歓迎してくれる。

クルーズのメインスポットは奥行き80メートルの「青の洞窟」。海底が見えるグラスボートで洞窟に入ると太陽光と海が織りなす幻想的で唯一無二の感動空間を体験できる。



また、サービス(一部有料)の一つとして国内初のドローンによる記念空撮を国の飛行認可を取得しているスタッフが同行しており、通常では絶対に撮れないアングルからの記念撮影は一生の思い出となる。

来年の運航は5月初旬〜10月中旬の1日3〜4回を予定しており、完全予約制となっている。料金は大人3000円、小学生以下1500円。団体の場合は30分・60分の短縮コースもある。同法人は特産品開発も手掛け

ており、津軽海峡の塩を使ったほんのり塩味の「青の洞窟サイダー」を、町内の飲食店や道の駅、温泉施設などで販売している。今後は本クルーズをきっかけに岩部地区をPRし、将来的にはクルーズを中心に大自然と食の魅力を発信する「岩部体験村」(仮称)の実現を目指している。

知管内 地域間交流で 新商品誕生!

新十津川町商工会(伊藤克嘉会長)は、奈良県十津川村と奈良県の三者による互産互生(ごさんごしょう)の取組で新たな商品を開発した。

互産互生とは、地域同士がお互いの地域にないものを相互に交換し、経済活動や人的交流から新たな価値の創造を目指す取組。

明治22年、奈良県十津川村は大水害により民家が流出し多数の死者が出た。生活再建のため、多くの村民が新天地を求めて北海道への移住を決断し、未開の原野を切り開き、新十津川町を築いた歴史がある。以降、十津川村と新十津川町は「母子の村」として交流を続け、平成29年に町と十津川村、奈良県とで三者協定を締結し、地域の特産品などの物産交流を開始した。

商工会では地域活性化の一翼を担うため、今年1月に「互産互生」の啓発セミナーを実施した。その後、交流をきっかけに奈良県五條市で農産物加工を行う農悠舎主隠堂(のうゆうしゃ)といういんど(のういんど)の梅肉を使い、町内の(有)大島精肉店(大島光敬

代表取締役)が豚ロースと鶏肉の2種類の商品を開発した。梅肉は(株)ソラチの協力を得て爽やかな香りと酸味のあるソースに仕上っている。

伊藤会長は「交流をきっかけに奈良県での販路を開拓できれば」と話す。

11月から販売を開始し、店舗のほかインターネットでも販売する。各498円(税込)

(お問合せ先)
大島精肉店

0120・0822・982

<http://ohataseinkuten.com/>

新十津川町商工会

0125・76・2571



上川管内 ラーメン店主と生産者の 異業種タッグで 商品開発!

上川町商工会(鎌田康雄会長)は、地域で生産されている西洋野菜赤ビーツを活用した特産品「赤ビーツのヨーグルトムース」

を研究開発し、7月から町内の飲食店、観光施設で販売を開始した。

赤ビーツは、上川町のような冷涼な地域での栽培に適しており「奇跡の野菜・食べれる輸血」と言われるほど葉酸をはじめとする栄養素が豊富に含まれている。

平成29年6月に町民へ赤ビーツの普及促進を図ることを目的として商工会が呼びかけ、町、保健師、生産者に加え、食や栄養学の専門家である旭川大学短期大学部教授の協力も得て「ビーツ活用準備検討会」を発足し、具体的な試作を開始した。

当初は、ビーツをフリーズドライパウダーに加工し、パンや菓子の生地に練り込む計画もあったが、粉末加工は加工賃が高額で、商品化が難しく、商品の再検討を余儀なくされた。

平成30年より「健康+おいしい」をテーマに町内事業者が手軽に提供でき、土産品としても販売できる「スイーツ」の開発に切替え、試行錯誤を重ねた結果「赤ビーツのヨーグルトムース」が完成した。

開発にあたっては、よろず支援拠点の紹介により小樽市の菓子製造会社と共同開発し、道商工連の専門家派遣や多くの支援機関と連携を図り、コンセプト

の選定、パッケージ、栄養面やマーケティング、新食品表示法まで様々な支援施策を活用した。

現在、町内の飲食店「あさひ食堂」が販売者となり、自店と大雪森のガーデンなどの観光施設で販売している。7月に町内限定で販売開始後、2週間で初回ロット1000個を完売。飲食店でのスイーツ販売は未経験であったが、ラーメンを食べに来た町内外の幅広い客層から多くの支持を受け、その後も売上を伸ばしている。

今後は、学校給食や病院食への提供ができるよう幅広い年齢層にも普及を図り「赤ビーツの福神漬け」などの商品化も検討しており、鎌田会長は「町内の生産者と商工業者が連携し赤ビーツ（健康野菜）の特産品開発を通じて、町民の健康増進と町の活性化に繋げていきたい」と語っている。



高内 日管 タコロッケで 記念のグランプリ

9月6日から8日の3日間、札幌ドームで日本ハム応援大使企画「第10回なまらうまいっしょーグランプリ」が開催された。毎年18市町村が参加し、全道179市町村を一巡して今回が最終年という記念すべき年。

日高町からは、日高町商工会青年部（中口聖太郎長）が、地場産のタコ、コンブ、ジャガイモを使用したタコ焼きサイズのコロッケ「タコロッケ」を3個100円で販売し、3日間で約5000食を売上げた。期間中の来場客による人気投票が行われ、同商品は2512票を獲得し、2位以下に900票以上の大差を付けグランプリに輝いた。

タコロッケは今年のゴールデンウィークに門別競馬場で初披露された後、町内の各イベントにおいても新たな特産品として地域住民から好評だった。

町は6年前からグランプリへの出店を希望していたが、今年念願の参加が決定。青年部は町からタコロッケの出店要請を受け、やっと巡ってきたチャンスを活かそうと出店を決意した。出店には大量の商品を用意



しなければならなかったが、青年部のこれまでの活躍により、商工会役員、女性部、役場職員合わせ3日で63名の協力を得て、イベントに向け1万8000個の冷凍タコロッケを製造した。当日は揚げる調理のみで、できる限りお客様を待たせない体制を整えて挑み、栄冠を手にした。今シーズンのファイターズの成績は5位となったが、グランプリ開催中はホーム戦で強さを発揮してバッファローズに3連勝し、ファイターズ最大のグルメイベントに花を添えた。



釧路 日管 サイクリストに やさしい宿

自転車観光の利便性向上で人気の鶴居村のNPO法人美しい村・鶴居村観光協会理事長であり、(有)泰都の和田正宏社長が運営する「鶴居ノーザンビレッジホテルTATO」が進める自転車観光が人気を集めている。同社は平成29年10月13日に北海道経済産業局及び北海道運輸局より地域産業資源活用事業計画の認定を受け「釧路湿原等を活用したサイクリストに優しい宿とツーリズム事業」の一環として、自転車観光を楽しむ顧客に向けたサービスを開発・提供している。

ホームページに専用サイトを開設し、自転車保管できる客室の整備、車体整備用工具の貸出し、洗車コーナーの設置、自転車の発送や受取体制、村内観光ガイドなどを行っている。

また、貸出用自転車として、クロスバイクや持続化補助金を受けて購入した電動アシストマウンテンバイクを導入。

初心者でも気軽に体験してもらい、愛好家以外にも女性や子供などの家族層に客層を広げる狙いがある。

鶴居村は自転車観光促進のため、開発局が道内5ヶ所を設定したモデルルートの一つである「阿寒・摩周・釧路湿原ルート」のほぼ中央に位置する。

同社は釧路湿原国立公園内などを走るコースを新たに設定。参加者の体力や体調に合わせたコースを選び、サイクリングツアーガイドの資格を持つ同社の和田貴義専務の先導で、酪農地帯や湿原の風景の中を楽しめるという。

同社はさらに、カフェやギャラリー、自転車観光の案内所を備えた施設を同社敷地内に12月オープン予定。また、来年以降に1棟貸しのコテージの建設も予定している。

和田社長は「中心部には観光客が集まることの出来る場所が少ない。施設を観光客や地元住民の交流拠点にして、にぎわいを創出したい」と話している。





道商工女性連(国沢広子会長)は、女性部員を対象に「魅力ある売場づくり」のための「手書きPOP」を活用した販売促進手法の研修会を9月に旭川市と函館市で開催し、旭川市では24名、函館市では20名、合計44名が参加した。

「手書きPOP」研修の開催は今年で4年目となり、より多くの部員が参加できるよう、今年度は道南・道北の2会場で開催した。

本研修会は、薄れつつある「手書き」の持つ温かさなどの魅力

「女性部員業務体験研修」
実践！思わず手に取る
POPの作り方

に着目し、いわゆる「デジタル」から「アナログ」への回帰をテーマとしている。

講師には、東京でデザイン事務所を営み、WEBでPOPの学校等を運営している山口茂氏を招き「売場づくり」の概念からPOPを活用した「見せ方」や「付加価値の付け方」などを学んだ後、教材を用いた実習を行った。

実習では、POP文字を書く練習から始まり、商品・サービスのキャッチコピーを考え、レイアウトなどを工夫しながら各自がPOPを作成した。

参加者からは「POPは接客の補助ということが理解できた」「自分の販売にPOPはあまり関係がないと思っていたが、講師のアドバイスでお客様にPRできる自社の強みに気づかせていただいたいき、POPを作ることができた」「お店のレイアウトを変え、見やすい、選びやすい、手に取りやすい陳列を心掛け、商品の魅力に気づいてもらえるPOPを作りたい」などの感想が寄せられており、今後、POPを活用した魅力ある売場づくりが全道に広まることを期待したい。

『後継者育成塾』で
経営力を向上

道商工青連(中川友規会長)は、若手後継者等育成事業の一環として、事業承継支援セミナー「後継者育成塾(基本コース)」を継続して実施しており、今年度は9月に興部町、10月には札幌市で開催した。



後藤直樹中小企業診断士を中心とした複数の講師陣を配して、実習を中心にグループワークを交えたカリキュラムで開催している。

参加者は、自社の経営状況の分析から始め、金融機関が決算書のどこを見て、どのように業績を判断するのかを学び、更に外部環境を含めて導き出された課題に対する改善計画の作成を行った。

また、後継者育成塾では「経営革新コース(ステップアップコース)」も開催しており、基本コースで作成した改善計画の実行力を養うとともに、経営革新計画の承認を目指す青年部員を対象に、事例演習を中心としたカリキュラムで、今年度は年明けの1月に開催を予定している。

人事異動

商工会人事(7月1日)

〈経営指導員〉▽清里町(同補助員) 見年丈治

〔退職〕

(8月31日)

〈経営指導員〉▽本別町 前田弘行

「事業継続力強化計画」認定制度

経済産業省では、中小企業・小規模事業者の方々が防災・減災に向けて取り組む計画を認定します。

計画の認定を受けた中小企業の皆様への支援策

- 1 日本政策金融公庫による低利融資(設備投資資金)
- 2 信用保証枠の追加
- 3 防災・減災設備への税制優遇
- 4 補助金の優遇措置
- 5 認定ロゴマークの使用
- 6 本制度と連携いただける企業・団体からの支援



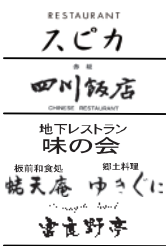
観光・ビジネス・ご婚礼・ご会合に
心をこめたおもてなし。

【ご宿泊】
【ご婚礼】
【ご宴会】
【ご会合】



HOTEL, BANQUET & RESTAURANT
札幌カーテンパレス

060-0001札幌市中央区北1条西6丁目 TEL. (011) 261-5311
URL <http://www.hotelgp-sapporo.com/>





道商工連は、8月27日、札幌市内のホテルで全道商工会監事研修会を開催し、全道から商工会の監事等66名が出席した。

本研修は、商工会の会計及び業務監査に関する具体的知識と指導力の向上を図り、商工会の合理的かつ健全な運営に寄与することを目的に毎年開催されている。

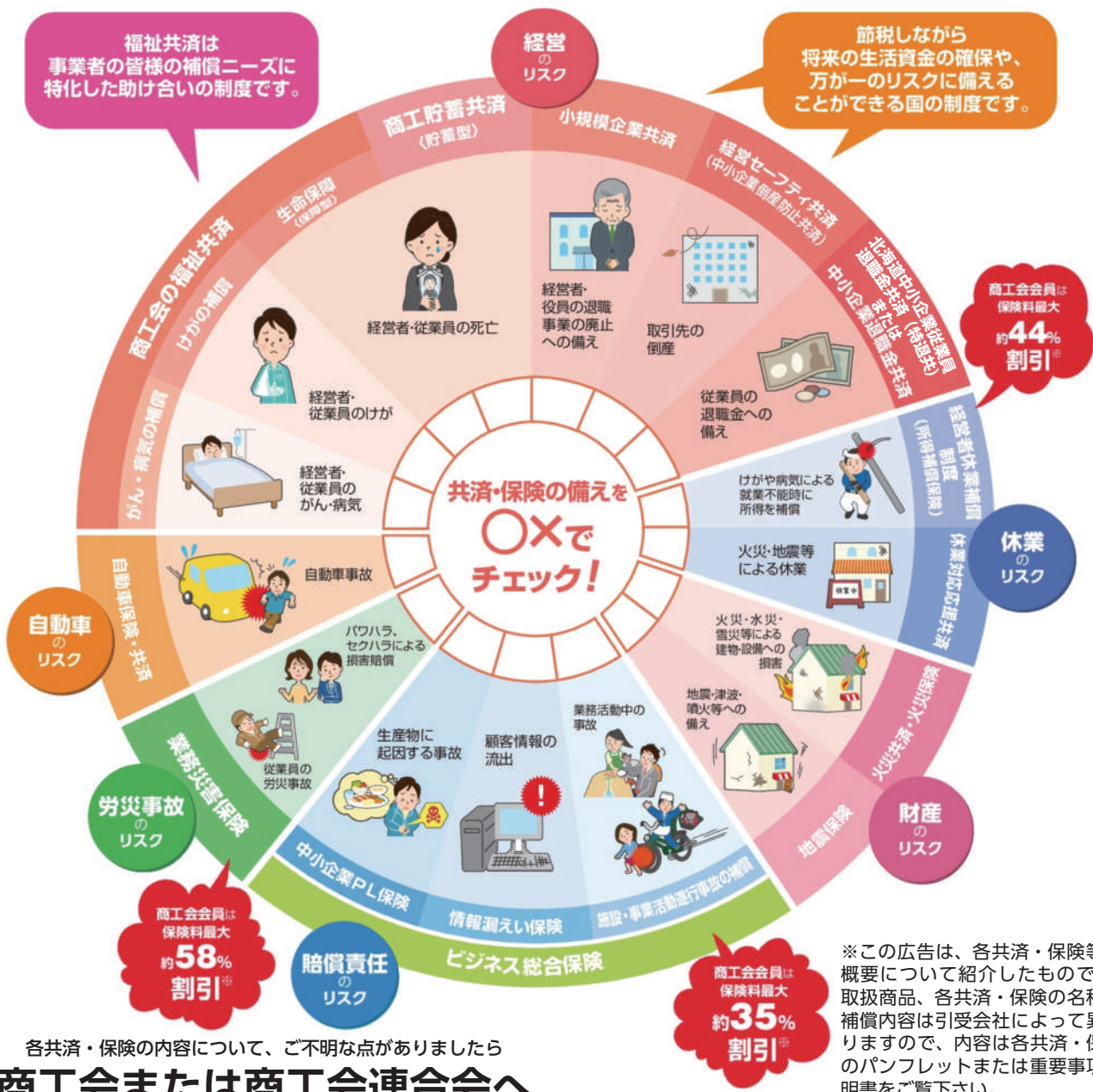
本年度は、札幌総合法律事務所 所の根岸弁護士と出崎弁護士を講師に迎え「監事の職責と働き方改革におけるコンプライアンス」について、説明を行った。

また「会計処理の適正化と監査体制・内部統制」について、チェックポイント等を交えながら説明し、監査を効率的に行うための重点項目や着眼点について理解を深め、研修会を終了した。

全道商工会 監事研修会を開催

あなたの会社のリスク管理は 大丈夫ですか？

定期的な共済・保険の確認はとても大切です。
下の表で現在の備えをチェックしてみましょう。



各共済・保険の内容について、ご不明な点がございましたら
商工会または商工会連合会へ

※一部の商工会ではお取り扱いしていない共済・保険がございます。

※この広告は、各共済・保険等の概要について紹介したものです。取扱商品、各共済・保険の名称や補償内容は引受会社によって異なりますので、内容は各共済・保険のパンフレットまたは重要事項説明書をご覧ください。

※割引率は、2018年9月作成時

瓦版WEBのご紹介

「北の瓦版」100号発刊を記念して、創刊号からのバックナンバーを閲覧・ダウンロードできるWEBサイトを公開いたしました。(スマホでも見ることが出来ます)

このサイトでは、過去の記事をキーワードで検索し、関連部分の文章をコピーしたり、該当ページを表示することも可能です。

101号以降も毎号データとして蓄積していきますので、ぜひ活用ください。

記事検索は、Googleなど通常の検索エンジンに近い仕様となっておりますので、特別な操作は不要で簡単にご利用いただけます。

日付や地名などあらゆるキーワードに対応しておりますので、人名で過去の人事異動を調べたり、特定の語句で関連記事調べたりと、WEBサイトならではのスピーディーで便利な活用が可能となっています。

各商工会の情報の結集である「北の瓦版」がデータベース化され、より一層皆さまのお役に

立てるものとなっておりますので、引き続きご愛読のほど、宜しくお願い申し上げます。

必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **861円**
効力発生年月日 令和元年**10月3日**

- 最低賃金には、**精皆勤手当、通勤手当、家族手当、臨時に支払われる賃金及び時間外等割増賃金**は算入されません。
- 最低賃金額以上の賃金を支払わない場合は、最低賃金法違反として処罰されることがあります。
- 特定の産業（「処理牛乳・乳飲料、乳製品、糖類製造業」、「鉄鋼業」、「電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業」、「船舶製造・修理業、船体ブロック製造業」）で働く労働者には北海道の特定（産業別）最低賃金が適用されます。

厚生労働省 北海道労働局 労働基準監督署（支署）

「北の瓦版」バックナンバー・記事検索システム

「北の瓦版」最新号はこちら

バックナンバーの閲覧

北海道商工会連合会機関紙「北の瓦版」のバックナンバーをPDF形式で閲覧・ダウンロードできます。

過去記事検索 入力してください

▼ 第99号～91号（令和元年9月1日～平成30年5月1日）

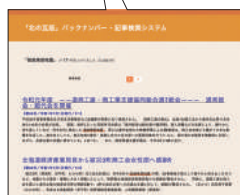
- ☐ 第99号／令和元年9月1日発行
- ☐ 第98号／令和元年7月1日発行
- ☐ 第97号／令和元年5月1日発行
- ☐ 第96号／平成31年3月1日発行
- ☐ 第95号／平成31年1月1日発行
- ☐ 第94号／平成30年11月1日発行
- ☐ 第93号／平成30年9月1日発行
- ☐ 第92号／平成30年7月1日発行
- ☐ 第91号／平成30年5月1日発行

キーワード
で検索

バック
ナンバーが全て
揃ってます



バックナンバー表示画面



過去記事検索結果画面



<https://do-shokoren.net>

人材育成は中小企業大学校旭川校にお任せください！中小企業の「ひとづくり」に貢献します。

北海道の中小企業及び地域の課題・ニーズに合わせた「自社課題解決型」講座が目白押し！

2019年度おすすめ講座のご案内 **NEW!!**



No.37 コミュニケーション活性化講座・基本編（札幌開催）

期 間 2019年12月4日（月）～5日（木）

受講料 22,000円（税込）

対象者 新任管理者（候補者）

No.26 女性リーダーのためのキャリアアップ講座

期 間 2019年12月9日（月）～11日（水）

受講料 32,000円（税込）

対象者 管理者・新任管理者（候補者）

No.38 段取り八分！生産性を向上させる仕事の進め方（札幌開催）

期 間 2019年12月12日（木）～13日（金）

受講料 22,000円（税込）

対象者 新任管理者（候補者）

講座の詳細は

で検索！お申込みも web から！

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部

中小企業大学校旭川校

お気軽にお問い合わせください

TEL 0166-65-1200

旭川市緑が丘東 3 条 2 丁目 2-1